

## 2022年度 講師派遣活動記録

整理番号: 20220818

事業名	環境教育およびエコロジカルライフを実践するための講座開催事業
-----	--------------------------------

活動名	環境学習指導者養成講座(環境学習リーダーになろう!)
-----	----------------------------

担当者	高根 美保	主催団体	NPO法人エコライフはままつ
-----	-------	------	----------------

事業区分	講師派遣	事業サイクル	継続事業
------	------	--------	------

活動の目的	環境教育の新たな担い手を育成することを目的として、環境学習指導者養成講座を開催する
-------	---

実施内容	
活動日時	2022年8月18日(木)13:00~16:00
活動場所	浜松市西部清掃工場えこはま 会議室(1)
活動者名	高根美保
詳細	①廃棄物について ②浜松市のごみの現状 ③浜松市西部清掃工場見学と環境啓発施設事業説明 ④循環型社会形成推進基本法について ⑤環境マークについて ⑥紙容器リサイクル事業説明 ⑦食品ロスの現状と対策 ⑧海洋プラスチック問題 ⑨使用済ハブラシリサイクル事業説明

事業の成果	<p>参加者:16名 配布物(希望者のみ配布) 食品ロス削減メモ帳、ごみ減量リーフレット、雑がみ啓発クリアファイル 紙容器紙容器回収袋、紙容器啓発チラシ 参加者リサイクル事業参加 紙容器カップ 約0.20kg 使用済ハブラシ 12本 約0.15kg 雑がみ 1枚 工場見学案内と合わせて、企画イベントやエコ講座開催内容を説明、今後指導者となった際には講座開催等が可能となることも説明した。</p> <p>講座内容でSDGs12を説明の際には、開催中の地域企業の環境報告書について消費者の一票の重さについて説明を行った。</p> <p>&lt;質疑&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終処分場を新しくつけれないのか?また、使用後の活用方法についてはどうなっているのか?</li> <li>・環境マークの「紙」が付いていたら全て雑がみとしてリサイクルに出していたがどうなっていたのか?</li> <li>・もえるごみにプラスチック製容器包装入れない分別を何故行うのか?全て燃やしたほうが良いのではないのか?分別のメリットは何か?</li> <li>・清掃工場で発電できるのであれば、ごみが沢山あったほうが良いのではないのか?</li> <li>・紙容器リサイクル事業を初めて知った。住居区には回収拠点がない。その場合は、どうしたら良いのか?また、広報が十分に出来ていないことで知らない市民がいるのではないのか?</li> <li>・使用済ハブラシ事業では、ヘットの部分は廃棄物となると説明されたが、そのごみはリサイクルされないのか?</li> <li>・生ごみを減らす良い方法はないのか?</li> <li>・環境マークという表現を初めて知った。広報されていない理由は?</li> <li>・海洋プラスチックごみを使用した製品は、通常の商品より高額な理由?</li> <li>・海洋ごみのみでリサイクル品は、できないのか?</li> <li>・マイクロプラスチックは、人間の体に入っているのか?摂取量はどのくらいか?</li> </ul>
-------	---

事業の課題	参加者全員が、ごみ減量天下取り大作戦を知らないと回答した。生物多様性や海洋プラスチック問題を課題として活動したいと考える参加者は多いが、廃棄物を活動とする人がいないことが残念です。
-------	--

## 記録添付

